広報 たかのす

発行所・秋田県鷹巣町役場総務課
編集人・松尾精一
発行部数　（6,300部）
頒価10円　郵便番号 018—33
印刷所・秋北新聞社

役場庁舎は旧農林高校第二校舎跡地に新築

＝第一回町議会臨時会で可決＝

第一回町議会臨時会は、二月十日役場会議室に招集され、提案された五議案を可決、掛泥部落からの学区編成に関する陳情は、教育民生常任委員会に付託され、二十日まで審査報告するため二十日まで延長、同日本会議が開かれることになりました。なお、十日に可決された議案内容は次のとおりです。

役場庁舎を新築

昭和四十四年度中に、役場庁舎を次の構想によって新築する。

建物は不燃性建築で延建面積二千八百四十平方㍍（八百坪）以内、位置が鷹巣町鷹巣字東鷹巣九九ノ三の内（旧農林高校第二校舎跡地）ときまりました。

新築の構想は二月三日開かれた町議会議員全員協議会で当局から出された内容によると、新築面積二千五百平方㍍（七五六・二五坪）、地上三～四階（エレベーター施設）、工事費は総額一億一千二百万円、歳入は起債六千万円、財産収入五千二百万円が見込れている。

理由は町村合併後、庁舎の一部を増改築をし使用してきたが、なお、狭いのと腐朽がはなはだしいので、新築する必要があるものです。

なお、建築についての構想は、さらに協議のうえ実施する。

2月10日開かれた臨時議会の模様

旧電報電話局庁舎敷地の取得と特別会計

日本電信電話公社から旧鷹巣電報電話局建物及び土地を譲渡を受けるため、その対価交換物として、大館市荒屋鋪栄治氏から秋田市外旭川字三千刈一八四ノ五宅地一、七七四・七一平方㍍を一千六百六十八万二千二百七十四円で買収し公社に提供、これを交換する。

なお、同地を買収するため特別会計を設けました。

昭和四十三年度鷹巣町旧電報電話局土地建物取得特別会計予算
歳入歳出総額千七百十七万三千円。

町立南才1小学校 南才2小学校（仮称）が四月から発足

七日市、沢口、坊山小を統廃合

七日市、沢口、坊山小学校を三月三十一日限りで廃止

町立七日市小学校、沢口小学校、坊山小学校を昭和四十四年三月三十一日限りをもって廃止する。

町立南才一小学校（仮称）及び町立南才二小学校（仮称）の設置

七日市、沢口、坊山小学校の廃止に伴ない、四月一日から次の二校を設置することになりました。

町立南第一小学校（仮称）
位置・鷹巣町脇神字高村岱地内
町立南第二小学校（仮称）
位置・鷹巣町七日市字中岱地内

注、学校名については、関係地域住民と協議して後日定める。

（議決までの経過）

昨年来、沢口地区から鷹巣南小学校（仮称）新築促進陳情、七日市地区から七日市小学校新築促進陳情が町と町議会に提出され、沢口小学校は現在の校舎が四十年前に建てられ老朽と、陣場岱開田により湿地化し環境が悪く、南鷹巣地区を含めた学区として高村岱地内の養鶏センター跡地に建築してほしいというもの。一方七日市小学校校舎は元郡立農林学校校舎を引継いだ町内で最も古く老朽化し新築に迫られ、地元から新築するよう要望が出されていた。

町内の学校統合と学区再編成は、中学校の二校が完了あとは小学校のみとなっていたが、人口の過密過疎の影響、新入学児童の減少などで適正規模を欠く学校もあり、町教育委員会では「鷹巣町小学校統合及び学区再編の方針」（別掲）昨年九月たて、当面する学校統合及び学級編成についてさしあたって前記二校（統合後）の学区編成を地元と数回となく協議を行ない了解点に達したので今議会に提案となったものです。

校舎建築は四十四年度から三カ年間に二校新築されることになります。

小学校統合と学区再編成の方針

鷹巣町教育委員会

日進月歩の世の進展に即応するため、教育の形態を整えることは教育行政を担当する者の最も大事な任務である。

わが鷹巣町の小学校の形態（特に学区域の点）は今から十数年前の新町建設以前のままである。特にわが国は、ここ十数年の間に経済が高度に成長し、人口の過密過疎の現象が著しく、わが鷹巣町においてもその影響を受け鷹巣町部に人口が集中し、山間部は著しく減少しつつある。また道路交通事情も漸次好転しつつあるのに小学校の学区だけがそのままであることは、教育効果をあげる意味から大きな問題である。

従って最近年々鷹巣小学校の学級数が増加し、校舎の増築が必要となった。このことが契機となって全町の小学校の学区を再検討することになり、当教育委員会が一年有半の審議を重ね現在の十二校一分校の鷹巣町の小学校を次のように八校ないし七校に統合し、学区を再編成する方針を立案した。

【鷹巣小学校】
現在の学区から新田中、掛泥、南鷹巣、沢口舟場を除いた旧鷹巣町部とし、学級規模は二十四学級程度とする。

【栄小学校】
現在の学区に掛泥を加え七学級程度とする。ただし今後校舎が老朽し改築する時点では、宅地造成及び旧鷹巣町の一部をも加え、大体十二学級程度の学校にすることを目安とする。

【綴子小学校】
現在の学区に新田中を加え、十二学級程度とする。将来道路事情がよくなれば岩谷分校を統合する。

【坊沢、縁ケ丘、七座、黒沢】
この四校を二校にする。いずれも六学級程度になるしかしこの地域は道路、橋梁、交通事情がよくなる可能性があるので、将来、坊沢小学校の老朽改築時点までには、十二学級以上の学校一校に統合する方がよいと考えられる。

【沢口小学校】
現在の学区から小森、中屋敷を除き、南鷹巣、沢口舟場を加え、十二学級程度の学校とする。

【七日市小学校】
現在の学区に坊山小学校区、小森、中屋敷及び大畑下舟木、吉ケ沢、深沢を加え、十二学級程度の学校とする。

【竜森小学校】
現在の学区に葛黒、門ケ沢、与助岱を加え、六学級程度の学校とする。

以上の方針にみられるように、将来鷹巣町における小学校は鷹小の二十四学級、竜小の六学級を除けば、大体十二学級程度の小学校が五校実現することになる。

当町は比較的平担地である関係から、ほとんど十二学級という同一規模の小学校が中核となり、教育効果をあげるには理想的な形態となるものと考える。

（昭和四十三年九月十三日）

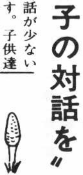
郷土の遺品

陸奥式土器

縄文を部分的にすり消して用いた複雑な曲線文様が発達している。
—藤株遺跡出土—
（東北大学文学部蔵）

“親と子の対話を”

私の提言



近頃親子の対話が少ないとよくいわれます。子供達はきょう一日の学校生活のことがらから「友達のこと」「先生のこと」「勉強のこと」「運動のこと」……を話したくてうずうずしているのですが、さてそのことが口をついてとびだして押えきれない程になるのは夕飯時ではないでしょうか。しかし、その時にテレビが子供たちの口を押え大人の耳をふさいでいることがとても多いように思うのは私だけでしょうか。

テレビに夢中のうちに食事が終ってしまうのは何とさびしいことでしょう。テレビのスイッチを切って食事をした時にとても新鮮な時間を見つけたように思うのです。

主婦が腕によりをかけた夕飯を味わいながら、きょう一日の生活を子供とともにじっくりと話しあう時間をもっと大切にしようではありませんか。

庄司敦子（舟見町）

集金は翌日に

し尿くみとり料金

鷹巣町外六カ町村衛生施設組合指定し尿汲取業者・鷹阿二清掃興業株式会社では、し尿くみとり料金を二月一日から翌日集金に切替え業務を行なっています。町役場清掃係では、くみとりの際立会って目盛りの確認するよう望んでいます。なお、料金は一・八㍑につき四月一日から十一月三十日まで二十二円、十二月一日から翌年三月三十一日まで二十四円になっています。

衛生施設組合議員に武藤氏

鷹巣町外六カ町村衛生施設組合の議会議員であった仲村正町議会議員が、一月三十一日付けで辞任したので後任に武藤完一町議が選任された。

今月の交通安全メモ

▽交通安全の目標
雪道の交通安全
▽自動車関係・運転者・雇用主の目標
(1)酒のみ運転をしない
(2)スリップ事故に注意しよう
(3)急ブレーキの使用は危険
▽地域住民などの目標
(1)交通法規についての理解を深めよう
(2)自動車をよけるときはしっかり足場を作って
(3)道路を横断するときは必ず右左を確認して

中小企業高度化資金の利用を

昭和四十四年度県中小企業高度化資金借入希望者を募っています。

借入希望者は三月十五日まで、役場商工開発課へ申込みください。

本町では共同施設資金が該当になります。

鷹巣町消防団

異動

◇退職（一月六日付け）
小林久之助（第一分団長）
◇昇格（一月七日付け）
第一分団長成田正一（第一分団副団長）、同副分団長中島松治（同班長）、同班長田村重三郎（同団員）
（カッコ旧任）

＝選管だより＝

○基本選挙人名簿の登録申出を三月一日までに。

新しく成人になられた方や、転入者で選挙資格を有し、まだ登録申出を行なっていない方は、三月一日まで申し出なければ、次回に行なわれる選挙で投票が出来ません。期日を厳守のうえ申出下さい。

○農業委員選挙人名簿の縦覧を

一月一日現在で申請によって名簿を調整した「農業委員選挙人名簿」を次のとおり縦覧に供します。

縦覧期間
44年2月23日～3月9日
毎日午前8時30分から午後5時まで。

鷹巣町選挙管理委員会

年賀はがきの

当せん番号は次のとおりです。お調べください

1等	8ミリ撮影機 映写機セット	各組共通	199644 268504
		A　組	105213
2等	トランジスター ラジオクロック	各組共通	73758
		A　組	64867
3等	スプーンセット	各組共通	9009
4等	封筒セット	各組共通 下3けた	979 784
5等	お年玉 切手シート	各組共通 下2けた	74 08 49

お年玉賞品のお渡しは1月20日から7月19日までです。くじ部分を切り取らず、お近くの郵便局へお持ちください。

• お年玉寄附金100億円突破記念としてお年玉寄附金受配団体から記念品贈呈記念番号A0422組915406（2月20日まで郵便局へお申出下さい）

ちょっと聞きたいが65件

一年をむかえた町長面会日

昨年一月十六日から開設された「町長面会日」が、一月七日でちょうど満一年を迎えました。この一年間に町内各地域からあらゆる階層のかたがたが、いろいろな問題をもって訪れ、町長と話し合いをし、身近な町政の推進に大きな効果をもたらしています。

この制度は、町長が直接一般町民に触れ、町政についての身近な要望、苦情を聞いたり、相談に応じ、その問題解決につとめるという目的から町民の声によって生まれた制度です。面会日は毎月第一、第三火曜日の二回で役場監査委員会室で、午前中行なわれています。これまでだと町長に面会したいため遠くから面会にきても、不在のため用事が済まされないこともありましたが、この面会日にはやむをえない事情以外には町長が直接面談にあたっています。

この一年間の面会者は集団面会を含めて、のべ百三十九名が利用し、六十五件の要望・意見・苦情・相談などがありました。その概要は次のとおりです。（注・昭和四十三年一月十六日から四十四年一月七日まで）

町民からの要望をじつくりと応談する町長（中央）

▽面会日の回数など
回数＝24回
面会者のあった回数＝20回
面会者のなかった回数＝4回

▽面会件数
提出件数＝65件

面会者数＝のべ139人
申込者件数＝53人
最高集団面会者＝36人
最高提出件数＝4件

▽面会の種別
要望＝54件
意見＝1件
苦情＝3件
相談＝7件
計　65件

▽面会者地区別
鷹巣地区＝28件
栄　地区＝1件
綴子地区＝15件
坊沢地区＝2件
七座地区＝1件
沢口地区＝9件
七日市地区＝9件
計　65件

▽部門別
総務関係＝9件
土木関係＝26件
保険衛生関係＝4件
税務関係＝1件
農林関係＝4件
福祉関係＝2件
商工関係＝4件
教育関係＝5件
その他　＝10件
計　65件

▽申込者性別
（注・集団面会の場合は代表者）
20歳代＝男3人
30歳代＝男5人
40歳代＝男10人、女3人
計21人
50歳代＝男11人、女5人
計16人
60歳代＝男10人
70歳代＝6人
計＝53人（男45人、女8人）

▽申込者職業別
農業＝35人
商工業＝9人
公務員＝2人
鉱業＝1人
医師＝1人
主婦＝1人
その他＝2人
計　53人

新成人感想文入選作

成人になって考えた事

七日市　長岐直介

「成人」、私は今までこの言葉をどのように考えて来たのだろう。これと言って明確な考えはなかったように思われます。そして今日、その成人に直面し、大人の仲間のりと言う感激の中にも、もう一度『成人』を考える必要があると思います。めぐるましく変化する現代社会に於いて、私たち成人者の使命や社会的な自分の位置など、また自由と権利そして義務を与えられ、社会形成者としての責務の大きさを自覚しなければならない事など、大きな課題がいくつもあると思います。そしてこれらの考えは私たち成人者の中でも多種多様だと思いますが、私はここで成人に当り未熟ではありますが、その考えを綴ってみる事にします。

過去二十年間の私たちの生活は、児童、学生、職業人と小さいながらも社会の一員であったと思います。ただそれは、いろんな形で保護育成されて来たのです。そして今、私たちは、歩けるようになった子供から歩行器を取り去るように社会と言う親から、その力を認めてもらえるのです。ここで私が強く望む事は、すべて受動的に「二十才になったから成人を認めてもらった」ではなくして、私たちが自信を持って能動的に「二十才になったら社会人としての力を認めてもらう」これ程の気持ちが必要だと言う事です。こんな気持ちが、これから立派な社会形成者となる力の支えになると思います。

私が学業を終え、職業を持った頃を省みると、自分を一人まえの大人として扱ってくれることを望み、背のびしてでも大人になりたい、そう思う毎日でした。しかし、自分のあの頃の力では無理であった事を今になって知りました。そして「人生はいつまでも学校の討論会ではない」と言う事もある本で知り、社会ではもっと多くの現実的なそして建設的な考えを持たなければならないと感じ取り社会人として認めてもらえるには「自分の行動に対し責任を自覚しなければならない」と言う事を改めて自分なりに知りました。

このように社会は私たちを成長させてくれるのです。しかし、反面社会は冷たく過酷な事もあります。激しい生存競争に敗れた者は、かまわずおいてきぼりにされ、待ってくれません。社会は目に見えない速さで進行しているのです。私たちは、その進行に歩調を合わせるには、義務と秩序のある自由、又は権利を最大限に活用して、他人を尊重し協力し合い、みんながすべての事に努力しなければならないと思います。そしていかなる時点に於いても、社会形成者としての使命も忘れてはならない。この使命は私たち一人一人が立場や職業が異ると同様、形も異っていると思います。しかし、私たちの最も身近な使命、それは「平和な住みよい社会、国家を造る一億分の一の力、そうです私たち自身の力を大切に意義あるものにする事です」そして私たちが今まで漠然とした意味で使って来た、社会とか自由、これらの言葉を理解することが、私たち成人者の最初の使命だと思います。

毎日の生活に成人と言う自覚を持ち、社会を知りそして社会を建設する。そんな成人に私はなりたいと思います。

こんな言葉があります。

『この地上には、なすべき事がじつに多い。急げ‼』

このように私たちの使命は巨大なものと思います。しかし、急ぐ事も必要ですが一歩一歩、目的達成のため努力する事が大事と思います。

このように綴っている間にも私は、成人のよろこびと不安に取り囲まれているのです。

（原文のまま）

町民スキー大会

リレー男女とも鷹小優勝

才七回町民スキー大会は二月九日午前九時から薬師山町営スキー場で行なわれました。午前中は強風にあい悪いコンディションであったが、各選手とも敢闘し盛会に終了した。

町営スキー場は、昨秋以来、ヒュッテの建設やロープトウの開設、ゲレンデの整備を行ない、初・中級者にうってつけのローカルスキー場として脚光を浴びています。今シーズンも各小・中・高校や職場スキー大会も数多く利用され、年々町民スキーヤーも増えています。町内の小学校などは、早くも町民スキー大会に備え猛練習をかさね、昨年までは栄勢の圧勝であったが、各校とも大差なく充実したプレーが広げられました。

成績は次のとおりです。

スタートで力走する小学校女子リレー

◆小学校の部

▽距離男子（2．）＝①藤田憲一郎（七座）26分42秒②長岐努（七日市）③佐藤知治（沢口）④佐藤和紀（七日市）⑤松尾正弘（栄）

▽距離女子（1・5．）＝①花田智子（栄）9分59秒②田村悠子（栄）③村上京子（栄）④畠山妙子（沢口）⑤沢田博子（七座）

▽大回転男子＝①佐藤博明（七日市）38秒9②吉岡司（栄）③長岐博（七日市）④松尾貢（七日市）

▽回転女子＝①佐藤恵子（栄）38秒9②戸島和子（栄）④小塚祐子（沢口）⑤仲村信子（七座）

▽リレー男子（8．）＝①鷹小A（成田功―土田正敏―豊村公人―森岡一）＝55分34秒②七日市小A③栄小A④栄小B⑤七座

▽リレー女子（4・5．）＝①鷹小A（宮野睦子―金沢康子―渡辺美樹子）＝31分57秒②栄小A③鷹小B④沢口⑤綴子

◆中学校の部

▽距離男子（4．）
（一年生）＝①佐藤久孝（南中）＝①長岐正人（南中）
（二年生）＝①三沢勇一（鷹中）②和田博（鷹中）

▽回転男子
（一年生）＝①長岐琢未（南中）②仲谷安俊（鷹中）
（二年生）＝①成田豊（鷹中）②大川英美（鷹中）
（三年生）＝①武田信夫（鷹中）②永井篤（南中）

▽回転女子
（一年生）＝①成田千代子（鷹中）②大川広子（南中）
（二年生）＝①三沢加代子（鷹中）
（三年生）＝①高坂久美子（鷹中）②柳谷ヨシ子（鷹中）

◆一般の部

▽距離（4．）＝①相馬勤（電通）②河田耕作（農業）③中島文夫（商業）

▽大回転（三十歳未満）＝①簾内春光（七座）②佐藤正憲（綴子）③成田捷太郎（七座）

▽大回転（三十歳以上）＝①大川雅夫（綴子）

▽一般男子リレー＝①鷹巣クラブ②七座A③綴子クラブ④七座B

所得税の確定申告始まる

所得税の総決算ともいえる確定申告と納税は、二月十六日から三月十五日までです。この確定申告は、昨年一年間の所得と税額を自分自身で計算し、すでに納税ずみの分と比べ過不足を精算するためのものです。

地方税の個人事業税、町（県）民税の申告期限も三月十五日までですが、所得税の確定申告をした人は、事業税、住民税の申告はいりません。

なお、確定申告をする人のため大館税務署では署内や鷹巣町役場に相談所（別掲日程）を設けて相談することにしています。

（大館税務署）

町民税

申告日程②

▽二月十七日＝前山、黒沢（前山部落会館）▽同十八日＝太田、下大沢、上大沢（旧栄支所）▽同十九日＝田沢、李岱、摩当（同）▽同二十日＝湯ノ岱、四渡、坊山、中屋敷、小森（沢口農協二階）▽同二十一日＝小摩当、上野、藤株、脇神（同）▽同二十四日＝湯車、佐助岱、小ケ田、川口、堂ケ岱、高森岱（同）▽同二十五日＝綴子下町、大堤（旧綴子支所）▽同二十六日＝松原、田子ケ沢、小田、上町（同）▽同二十七日＝岩谷、二本杉、大畑、糖沢、向黒沢（糠沢部落会館）▽同二十八日＝深関、相善、羽立、上町（旧坊沢支所）▽三月三日＝新屋敷、街道町、大町（同）―以下次号

三税共同申告日は三月五、六、七日です

畠山さんら入選

民有林コンクール

巣町造林コンクール表彰式

昭和四十三年度町造林コンクール表彰式は二月六日鷹巣町公民館で行なわれました。

コンクール出陳者は十四点で、審査の結果次の方々が入賞しました。

▽**一等賞**＝畠山政八（綴子大畑＝六年生林）▽**二等賞**＝岩本勝治（岩脇＝六年生林）中島多市郎（小ケ田＝六年生林）▽**三等賞**＝沢田文雄（前山＝六年生林）畠山清吾（七日市大畑＝八年生林）中島喜代治（川口＝六年生林）▽**努力賞**＝畠山吉治（二本杉＝畠吉治（二本杉＝五年生林）田村広士（下大沢＝七年生林）

（写真＝表彰式）

会合のご案内

家庭教育研究集会

町教育委員会主催の家庭教育研究集会は、二月二十五日午前十時から鷹巣町公民館で開かれる。町内各学級生代表、家庭教育主事、社教関係者が参加、講演を聞いたり、学習演示、研究発表、部会研究を行なって今後の学級運営について研修する。内容は次のとおり。

▽講演「石川理紀之助翁について」三上富三五城目馬川小学校長▽学習演示「テレビと家庭教育について」出席者から学級を編成するもの▽研究発表「大小家庭教育学級経営について」九島レイ子「家庭教育学級に学んで」坊山、鷹巣、黒沢学級一人▽研究部会「幼児児童の家庭教育について①曾祖父母、祖父母、両親の家庭②祖父母、両親の家庭③両親のみの家庭」、「中高校生の家庭教育について①農業を主としている家庭②公務員の家庭③団体職員の家庭」、「学級編成ならびに運営について」。

婦人教育研究集会

鷹巣町教育委員会主催で三月五日午前十時から鷹巣町公民館で「鷹巣町婦人教育研究集会」が開かれます。

参加者は町内各婦人学級生代表五名、文部省委嘱学級生は全員、婦人会員、生活学校生徒、婦人教育主事、社教関係者。